

ver1.13 の LookupMaster ヘルプ

LookupMaster サポート QRZxml、HamQTHxml、HamQTHadif、HamCall、QRZRUxml または QRZCQxml を使用した **コールサイン検索**、および適切なテキスト ファイルを使用した **CheckCall**。Logger32 と一緒にのみ動作します。メニューから選択して、どちらかを使用できます。

QRZxml: **無料ではありません**。詳細は QRZ.com web をご覧ください。

HamQTHxml、HamQTHadif: **無料**

HamCall: **無料**(1 日あたり 30 件のルックアップのみ) さらにルックアップするには、アップグレード (**無料ではありません**) が必要です。詳しくは HamCall web をご覧ください。

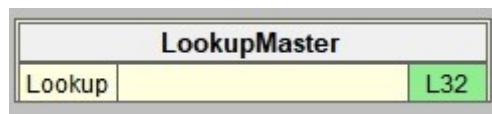
QRZRUxml: **無料**

QRZCQxml: **not free** 多くの間違った IOTA データが表示されるため、LookupMaster は IOTA を読み取りません。

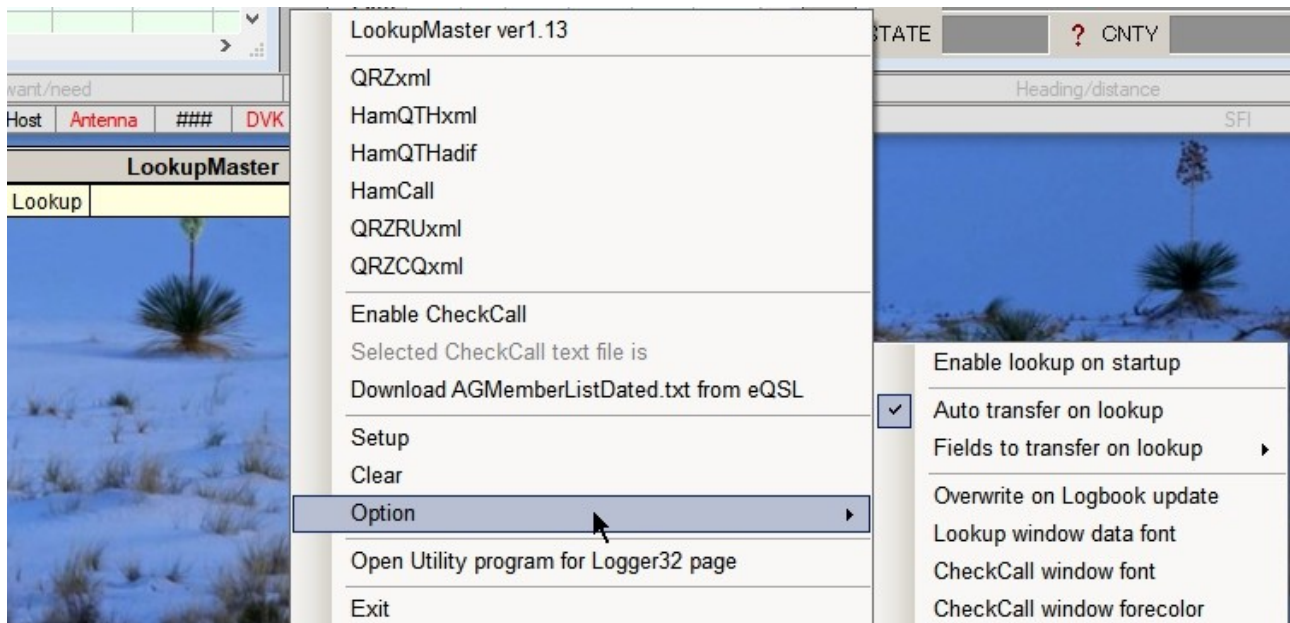
QRZxml、HamQTHxml、および HamQTHadif には、2 つの名前フィールドが用意されています。これらのフィールドは「ニックネーム」と「フルネーム」です (ver1.12 で追加) ニックネーム フィールドのデータを Logger32 に転送できます。

初めて LookupMaster を実行するとき

1. 新しいフォルダを作成します。このフォルダに LookupMaster.exe と CheckCall のテキスト ファイルを配置します。
2. Logger32 を実行します。Logger32 では LookupMaster の設定は必要ありません。
3. LookupMaster を管理者として実行します。バックカラーが薄緑色の「L32」ボックスが表示されます。これは LookupMaster が Logger32 に正常に接続されたことを示しています。



4. メインウィンドウのタイトルバー (上段) を右クリックするとメニューが表示されます。 QRZxml、HamQTHxml、HamQTHadif、HamCall、QRZRUxml、または QRZCQxml のいずれかを確認します。複数のサービスを同時に利用することはできません。選択したサービスが中段に表示されます。



5. 「ルックアップ時に自動転送」はデフォルトでチェックされています。使用しない場合はチェックを外してください。
6. ルックアップで転送するフィールドをチェックします。デフォルトでは、すべてのフィールドがチェックされています。
7. 使用する場合は「チェックコールを有効にする」にチェックを入れます。「CKCall」ボックスが薄緑色で強調表示され、選択したテキスト ファイルのタイトルが下段に表示されます。ここを参照してください。
8. メインウィンドウはどこにでも移動できます。タイトルバーをドラッグして移動します。
9. 必要に応じて、[オプション]、[ルックアップ ウィンドウ データ フォント] の順にクリックして、ルックアップ ウィンドウのデータ フォントとサイズを選択します。
10. 必要に応じて、[オプション]、[チェックコール ウィンドウのフォント] の順にクリックして、チェックコール ウィンドウのフォントとサイズを選択します。
11. 必要に応じて、[オプション]、[チェックコール ウィンドウの前色] の順にクリックして、チェックコール ウィンドウのフォントの前色を選択します。
12. 「セットアップ」をクリックして、使用するサービスのユーザー名とパスワードを設定します。CheckCall 機能を使用する場合は、テキスト ファイルを選択します。「適用」をクリックしてウィンドウを閉じます。

Setup

QRZxml Exp Date

Username:

Password:

HamQTHxml

Username:

Password:

HamQTHadif

Username:

Password:

HamCall

Username:

Password:

QRZRUxml

Username:

Password:

QRZCQxml Exp Date

Username:

Password:

CheckCall text file

?

Apply

13.最後に、このようなメイン ウィンドウが表示されます。この場合、QRZxml が選択され、「CheckCall を有効にする」がチェックされます。

LookupMaster		
Lookup	QRZxml	L32
CKCall	ClubMember.txt	

初期設定後のログイン状態

任意のサービスを選択して LookupMaster を実行すると、ログインが成功すると次のように表示されます。（「HamQTHadif」または「HamCall」を使用すると、検索ごとにログインが行われます。）

LookupMaster		
Lookup	QRZxml	L32
CKCall	AGMemberListDated.txt	

ログインに失敗すると、次のような警告メッセージが表示されます。セットアップウィンドウが表示されます。

Username/password incorrect		
Lookup	QRZxml	L32
CKCall	AGMemberListDated.txt	

LookupMaster の使用方法

LookupMaster が検索を開始するタイミング

- コールサインを入力し、TAB キーを押します
- クリック DX スポット

- c. チェリーピッキング・ピック・コールサイン
- d. UDP BandMap のコールサインをクリック (手動呼び出し)
- e. JTDX/WSJTX でコールサインをダブルクリック
- f. LookupMaster を実行し、ログブック エントリ ウィンドウにコールサインが存在する場合
- g. CheckCall についてはこちらをご覧ください。

LookupMaster が応答を受信するまで、「検索中…」が表示されます。

LookupMaster		
Lookup	Searching	L32
CKCall	JA1NLX found	

コールサインがデータベースで見つかった場合、検索ウィンドウが表示されます。

JA1NLX
✕

Nickname: Aki

Fullname: Akira Yoshida

Country: Japan

QTH: Tokyo State: 10

CNTY: 10

Grid: PM95RN IOTA: AS-007

QSL: QSL LoTW eQSL

District: 1010 DOK:

ログブック エントリ ウィンドウがクリアされると、ルックアップ ウィンドウが消えます。

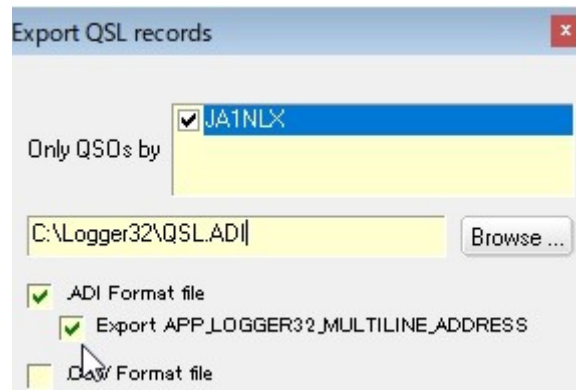
ルックアップ ウィンドウはどこにでも移動できます。タイトル バーをドラッグして、ウィンドウを移動します。

郵送先データ

QRZxml、HamQTHxml、または HamQTHadif を使用すると、Logger32 が「ルックアップによる QSO 更新」モードにある間、郵送先住所データが表示されます。各住所要素 (名前、番地、都市など) は「,」(コンマ) で区切られます

「アドレス フィールドの更新」をクリックすると、Logger32 Logbook のアドレス フィールドにアドレス データを送信できます。

Logger 32 は、QSL ファイルをエクスポートするときに複数行のアドレスを作成します。



ログブック エントリ ウィンドウにデータを転送する方法は？

「ルックアップ時に自動転送」がチェックされている場合、選択されたデータはルックアップ時に自動的に転送されます。このオプションがオフの場合でも、データのいずれかをクリックすると、データが転送されます。

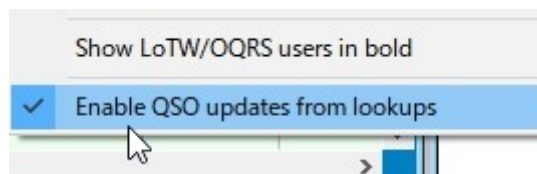
「日誌更新」とは？

ログブック ページ ウィンドウ オプションで「ルックアップからの QSO 更新を有効にする」がチェックされている場合、ログブック ページ ウィンドウで任意の QSO をクリックすると、LookupMaster はデータの検索と表示を開始します。「更新」ボタンをクリックすると、記録された QSO がこれらのデータによって更新されます。

「住所フィールドの更新」ボタンをクリックすると、郵送先住所データが Logger32 に送信され、住所フィールドが更新されます。(この機能は、QRZxml、HamQTHxml、および HamQTHadif でのみ使用できます)

「ログブックの更新時に上書き」がチェックされている場合、日付はログブックの既存のデータに上書きされます。

「キャンセル」をクリックすると、何もせずにウィンドウを閉じます。



K4CY

Nickname: Robert
 Fullname: Robert C Furzer
 Country: United States
 QTH: Acworth State: GA
 CNTY: Cobb
 Grid: EM74 IOTA:
 QSL: QSL LoTW eQSL
 District: DOK:
 - Logbook update -
 Update Update Address field Cancel
 To: K4CY, Robert C Furzer, 74 Grist Mill Dr, Acworth GA 30101, United States

州と CNTY データの検索

状態と CNTY データは、次の方法で表示/転送されます。

QRZxml

W、KH6、KL7 の状態と CNTY

HamQTHxml

W、KH6、KL7 (WAS、USACA) の州と CNTY

VE の状態

R の州と CNTY、地区データが提供されている場合は R9。(RDAとして)

地区データが提供されている場合は、JA の州と CNTY。(WAJA、JCC、JCGとして)

DOK データが提供されている場合は、DL の状態と CNTY。(DOKとして)

地区データが提供されている場合は、UR の州と CNTY。(ウルダとして)

HamQTHadif

W、KH6、KL7、R、R9 の状態と CNTY

VE の状態

ハムコール

KL7 を含む米国の州と CNTY。

VE、VK の状態

QRZRUxml

R、R9 の状態と CNTY

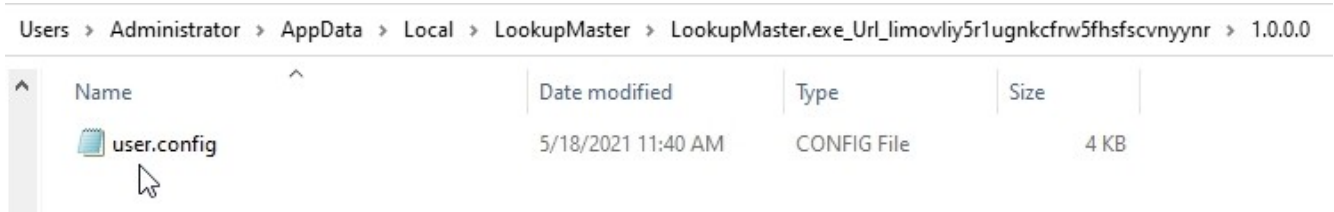
QRZCQxml

米国の州 (および CNTY) (実際に CNTY データを提供しているかどうかはわかりません)

設定はどこに保存されますか？

すべての設定は、次のフォルダーに保存されます。私の Windows は管理者として実行されているため、フォルダーは次のようになります

C:¥users¥Administrator... そうでない場合は、c:¥users¥username... にする必要があります。



問題がある場合は、最新の user.config ファイルを削除してください。LookupMaster がデフォルト設定で実行されるようになりました。新しいバージョンを実行するたびに、構成ファイルは常に別のフォルダーに作成されます。

QRZxml と HamQTHxml の「アクセスキー」を更新

コールサインを検索するための「アクセスキー」を取得する必要があります。LookupMaster は「アクセス キー」を取得します。

- いずれかのサービスが選択された状態で開始されます。
- いずれかのサービスをメニューから選択します。
- 「アクセスキーの有効期限が切れました」というメッセージが表示され、自動的に再ログインします。

うまくいかない場合は、LokkupMaster を閉じてから開きます。

QRZxml: アクセス キーが毎日 00:00 utc に期限切れになっているようです。

HamQTHxml: アクセス キーは、前回のログインから約 1 時間で期限切れになります。

QRZRUxml が「アクセス キー」の更新を要求するかどうかはわかりません。これについての説明はありません。

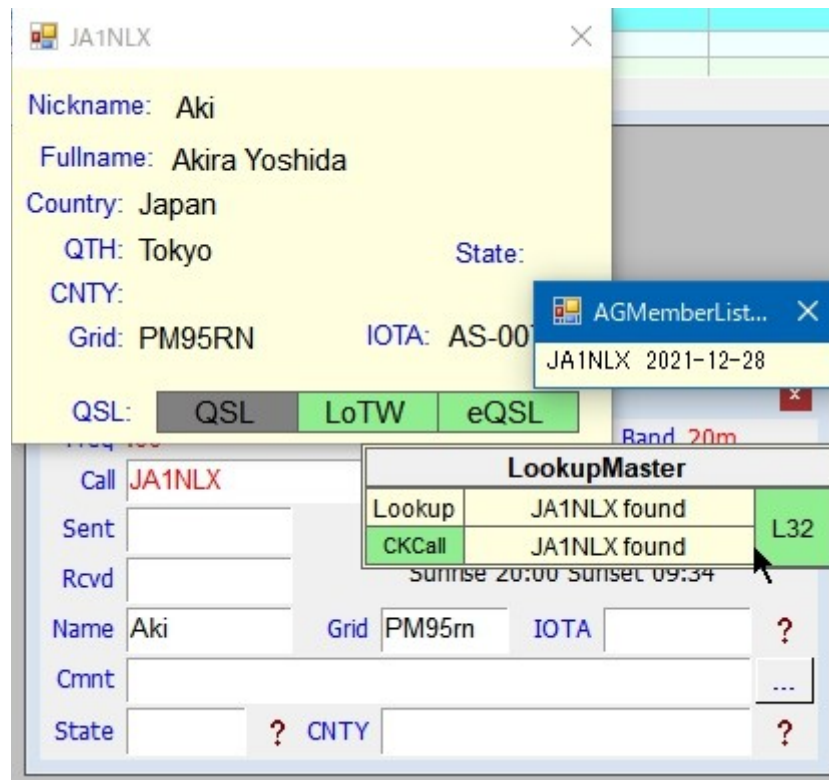
HamQTH からの応答なし

HamQTH (HamQTHxml と HamQTHadif) が、ほぼ毎日 1 回、数分間まったく応答しないようです。0 9:00 UTC 頃に発生します。

LookupMaster は応答を 5 秒間待ち、「HamQTH からの応答がありません」というメッセージを表示します。しばらくしてから、ログイン (HamQTHxml) または検索 (HamQTHadif) を再試行してください。

チェックコール

LookupMaster は CheckCall 機能をサポートしています。この機能を使用する場合は、メニューで「CheckCall を有効にする」にチェックを入れ、適切なテキストファイルを選択します。LookupMaster が CheckCall ウィンドウで自分のコールサインを見つけた場合、データを表示します。



彼が見つからない場合は、このように表示されます。

LookupMaster		
Lookup	JA1ZZ not found	L32
CKCall	JA1ZZ not found	

AGMemberListDated.txt は、メニューの「AGMemberListDated.txt をダウンロード」をクリックするとダウンロードできます。eQSL が提供する eQSL ユーザー一覧です。1日に数回更新されます!!!ダウンロードした AGMemberListDated.txt は、常に LlookupMaster.exe と同じフォルダーに配置する必要があります。